

学科名		学年	授業のタイトル（科目名）		
工業専門課程 Webスペシャリスト科		3	Webコンテンツ制作Ⅲ		
授業の種類		授業担当者	実務経験		
☒ 講義 ☐ 演習 ☒ 実習		徳田 恭子	☒ 有 ☐ 無		
[実務経験歴]					
制作会社、フリーランス、一般企業でのWEBサイトデザイン・構築・保守業務に20年弱従事 （Dreamweaver、Fireworks、Photoshop、Illustrator使用した、HTMLサイト / Wordpressの構築） 企業のマーケティング部でウェブディレクターを3年担当 求職者訓練ウェブデザインコースインストラクター3カ月×2回担当 専門学校にてウェブデザイン講師を4年担当					
単位数（授業の回数）		時間数☒	配当時期		必修・選択
4 単位 （ 60 回 ）		120 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☐ 必修 ☒ 選択	
[授業の目的・ねらい]					
ビジネスや社会活動においてWEB制作で重要なのは、単なる「ページ制作」ではなく、「目的に応じたコンテンツをユーザーに最適な形で届ける」ことです。そのため、1年次に学習したウェブ制作の基礎知識をもとに、情報設計やデザイン、広告運用、さらにペルソナを用いたマーケティングについて体系的に学び、ユーザーにとって価値あるウェブサイトを企画・設計・制作する力を養います。					
[授業全体の内容の概要]					
・ヒアリングシートやワイヤーフレームを用いた、クライアントワークの実践について学ぶ ・Landing Pageを制作し、情報設計や表現方法について学習する ・SEOやアクセス解析、ウェブサイトの運用について学ぶ					
[授業終了時の達成課題(到達目標)]					
学習内容をもとに、Landing Pageを企画制作する					
[準備学習の具体的な内容]					
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。					
[使用テキスト]			[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト いちばんよくわかるWebデザインの基本(SBクリエイティブ) 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。			定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
1回	webデザインの基本				
2回	webデザインの基本				
3回	デザインとは何か				
4回	デザインとは何か				
5回	目的と目標を考える				

6回	目的と目標を考える
7回	ペルソナとカスタマージャーニー
8回	ペルソナとカスタマージャーニー
9回	ヒアリングシートからワイヤーフレーム、デザイン制作までの流れ
10回	ヒアリングシートからワイヤーフレーム、デザイン制作までの流れ
11回	情報設計
12回	情報設計
13回	サイト構成
14回	サイト構成
15回	まとめと振り返り
16回	レイアウトの原則
17回	レイアウトの原則
18回	色とは
19回	配色
20回	トーン、色の印象、ユーザビリティ
21回	写真と図版
22回	解像度、ピクセル比
23回	画像のファイル形式
24回	書体
25回	書体
26回	文字コード
27回	適切なフォントファミリー
28回	webフォント
29回	webフォント
30回	まとめと振り返り
31回	テスト環境と本番環境
32回	公開前後のチェック作業
33回	webマーケティングの全体像
34回	インターネット広告の種類
35回	リスティング広告
36回	SEOとLPO
37回	googleアナリティクス
38回	LandingPageの制作
39回	LandingPageの制作
40回	LandingPageの制作
41回	LandingPageの制作
42回	LandingPageの制作
43回	LandingPageの制作
44回	LandingPageの制作
45回	まとめと振り返り

46回	
47回	
48回	
49回	
50回	
51回	
52回	
53回	
54回	
55回	
56回	
57回	
58回	
59回	
60回	まとめと振り返り